

『ボディラフティング』

自然の家の近くを流れる清流「沙流川」の自然に触れながら、川に親しみ、水辺の活動での安全について学ぶことができる。ボディラフティングは、川の水につかり、ライフジャケットの浮力を利用して、川下りを体験する活動である。

【時 期】 6月下旬～9月上旬

※ただし、下記に記載してある事柄が1つでもあった場合は中止する。

《中止基準》

- ア. ダム放水量が毎秒9トン以上の場合
- イ. 大雨、洪水、強風の各警報が発令されている場合及び雷が確認された場合
- ウ. 上記以外でも当自然の家所長が危険と判断した場合
(ダム放水量、水深、各注意報発令、雨天など)

【所要時間】 2～3時間

※説明開始時間は原則として、午前は9:30～、午後は13:30～。

【対 象】 小学生以上

【定 員】 80名程度

【準 備】 (個 人) 濡れても良い靴(危険防止のため、サンダルは不可)

濡れても良い長袖・長ズボン(服の下に水着を着用すると、さらに良い)、タオル、着替え、濡れたものを入れる袋、メガネバンド(落下防止のため)

(団 体) 安全管理のため、団体引率者も川に入って指導する。(必要な装備の準備をする。

・ドラム缶シャワー体験を行う場合は薪と着火剤の購入が必要となる。(準備・片付けは、団体引率者が行う)。

*購入を希望する団体は、事前に活動用品連絡購入票を提出する。

(自然の家) ライフジャケット、ヘルメット、スローバック、救急セット、毛布、無線機

【指 導】 自然の家職員が指導します。団体の引率者は川の中に入って指導の補助と安全管理をお願いします。

【展開例】

1. 濡れても良い服装と靴に着替えてボート庫前に集まる。

(タオル等は着替えの場所に置いておく)

2. 引率者は参加者数、待機者数、指導者数を職員に報告する。

3. 職員による説明・諸注意→ライフジャケット、ヘルメット着用。

4. 川に移動する。

5. 職員、引率者は指導ポイントに移動、活動準備を行う。

6. 数人ずつ川下りを行う。

・必要に応じて休憩、保温を行う。

7. 寒くなる前に活動を終了し、最初に集まった場所に戻る。

8. 使用した用具は水洗いし所定の場所に返却する。

・ライフジャケット・ヘルメット→PH 裏

9. オプションでドラム缶シャワー体験(2台)も可能である。(薪と着火剤の購入が必要。)

・準備から後片付けまで、団体引率者が担当する。

10. 所定の場所で密にならないように着替えをする。

【指導上の留意点】

1. 引率者は必ず事前に下見をし、コース状況、危険箇所、休憩場所を把握する。
2. 川に向かう参加者及び引率者全員が、ライフジャケット・ヘルメットを着用する。また、川に入る（濡れる）ことを前提に、衣類や持ち物を準備する。
3. 団体引率者は、活動の安全を確保するため、3カ所以上の指導ポイント（スタート・中間・ゴール地点）で活動を観察する。
4. 着替え場所の密を回避し、実施の際は人と人の間隔をあけてスタートする。
5. 活動プログラムは時間に余裕を持って設定する。
6. 荷物の管理も団体引率者が中心となって団体で行う。
（カラス等による被害に注意する）。
7. 開始時と終了時の人数確認を徹底する。

* youtube「日高 sun 太ちゃんねる」でも動画を公開中。

右の QR コードを読み込むか、「日高 sun 太ちゃんねる」で検索してください。



【参 考】 教科との 関連	◎理 科	～ 川の侵食・運搬・堆積の様子を観察することができる。
	○保健体育	～ 水辺における安全について理解することができる。
	○道徳	～ 友だちに譲り合ったり相手の立場になって活動したりすることで、思いやりの心をもとうとする心情を育てる。
		自然の中で過ごすことで自然を大切にしようという心情を育てる。

